



## 地域をうるおす水資源

### 農業用水

豊田市、岡崎市など西三河地域の12,595ヘクタールの田畑に水を届けています。

### 工業用水

衣浦臨海工業地帯(碧南市、半田市、刈谷市、高浜市、武豊町、東浦町)とその背後の工業地帯(豊田市、岡崎市、安城市、西尾市、みよし市、幸田町)および名古屋南部臨海工業地帯の鉄鋼、金属、重化学、繊維等工業に給水しています。

### 水道用水

西三河地域の6市1町1企業団(給水人口約142万人)に水道水を供給しています。



## エネルギーを作る

他の水利用に支障のない範囲で、水力発電を行っています。ダム直下流の矢作第一発電所と時瀬発電所を合わせると、最大出力68,400キロワットのクリーンなエネルギーを生み出しています。



## 洪水調節



## 地域を守る洪水調節

矢作ダムでは、台風や大雨によりたくさんの水が下流に流れそうな時、それをダムで受け止め安全な量だけを川に流します。洪水調節とは、ダムへ入ってくる水量がある量(洪水量)に達したとき、ダムに入ってくる流入量の一部または全部を一時的に貯水池に貯め、下流の川に流れる水を減らすことで洪水被害を軽減します。

矢作ダムでは、最大で1秒間に1,000m<sup>3</sup>(500ミリリットルのペットボトルで200万本分)の水を貯めて下流の洪水被害を軽減します。

### 洪水調節のしくみ

#### 通常時



#### 雨が降り出したら

上流からの水量は、まだいつもと変わりませんので、ダム湖に入ってくる水量とダムから下流へ流す水量は、ほぼ同じです。

#### 洪水時



#### 大雨になったら

水量が増えてきました。このまま水量を下流に流すと川がはん濫する危険があります。ダム湖に入ってくる水の一部を貯め込み、ダムから下流へ安全な水量を流すことで、下流地域を洪水から守ります。

#### 洪水後



#### 雨がやんだら

雨がやんで、ダム湖に入ってくる水量が減っても、しばらくはダム湖に貯め込んだ水量をダムから下流に流すことで、ダム湖の水位を普通の水位まで下げ、次の大雨に備えます。



安心した暮らしと経済を支える  
矢作ダムの役割  
矢作ダムのはたらき

